

防災通信 No.5

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来るよう目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

地震を感じたら、**まず、「身の安全」**を確保

2020年7月3日現在、日本全国での新型コロナウイルス感染者数が、また100人を超えました。再び自粛要請が発動されれば経済は回らず生活困難者が続出します。しかしこのままでは、感染拡大は避けられません。改めて各人の心掛けが重要ではないでしょうか。

そんな中「最近、地震多くない?」と感じている方は意外と多いのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス流行下と言えども自然災害は、やってきます。「ましてや地震は!」悪い時には、悪い事が起こっても心の準備を忘れずにしていきたいものです。小春日和の日曜昼間ではなく真冬の小雨降る夜中に起こる大地震の構えも必要です。

グリーンテラス本郷台では、震度5強以上の地震で安否確認・救助作業が行われています。



「震度5強」の地震とは、

- ・物につかまらないと歩くことが難しい。
- ・棚にある食器類や本など落ちるものが多くなる。
- ・固定していない家具が倒れることがある。

「震度6弱」

- ・立っていることが困難になる。
- ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- ・ドアが開かなくなることがある。
- ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

「震度6強」

- ・はわないと動くことができない、飛ばされることもある。
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- ・大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が発生することがある。

(ここでチェックポイント)

地震を感じたら、まず「身の安全」を確保し背の高い家具や窓ガラスから離れ、机の下などに入り、頭を保護します。揺れが収まったら火の確認と出入口の確保をしましょう。玄関ドアが開かない場合は、ベランダなどから避難しましょう。

まずは身の安全を確保!



揺れが収まったら火の始末!



避難路の確保!

グリーンテラス本郷台の住民のお宅で、内装を全撤去しゼロから作り治したお宅があります。想像していたことを質問してみましたところ一軒(1号室)内部に柱が無かったそうです。外周の壁に縦、横出張っていると建物の柱のようです。全室同じとは限りませんが、間仕切り等内装の柱はあてにしているものか各ご家庭で話合っはいかがでしょうか。

- ・災害時、感染症の恐れもあります。足の裏等の怪我にも要注意することも心掛けましょう。